

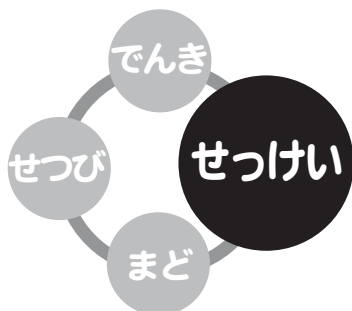
## 【いつまでも白亜の家】

外観は「札幌の景観色70色」のうちの一つ「雪灯／ゆきあかり」という名の白色の塗装をほどこした繊細な佇まい。そこで気になるのが、外壁の汚れの問題。でもご安心下さい。汚れが付きにくい「防汚効果」、雨と共に汚れを洗い落とす「セルフクリーニング効果」のあるコート材を吹付けているので、キレイがいつまでも持続します。内装は、ウッドチップの入った再生紙素材の真っ白なクロス。床には、ナラ材の無垢フローリング。時とともに風合いが増す自然素材の空間を楽しめます。



## 【真ん中階段】

この家は『真ん中に階段』があります。一見、邪魔なように思えるこの階段はただの階段ではありません。各部屋に囲まれた階段は、視界の抜けるゆるやかな仕切りとなり、各部屋同士に程よく距離が生まれ、居心地の良い場所をつくります。また、階段を中心とした「回遊できるプラン」は、行き止まりがなくなり、空間の奥行きと広がりを感じられます。さらにこの階段は、収納家具でもあり、飾り棚でもあり、照明装置でもあり・・・何役もこなすのが『真ん中階段』なのです。



担当者  
は皆さまに  
ココを見て  
欲しい

## 【小さくても機能は充実】

居間のとなりには、4.5畳の「小上がり」があります。小さくても、機能は充実。障子戸で仕切ると客間として利用できるこの小上がりは、開け放つことで居間と一体の大きな空間になり、40センチの段差はベンチとしても活躍します。また、押入以外に床下収納を備えており、収納力も充実しています。

## 【フレキシブルな子供室】

2階の子供室は間仕切りはなく、ワンルームとして広々とした使い方ができます。階段の吹き抜けに面した位置に移動可能なカウンターを設け、そこで、勉強や読書をする子どもたちが、吹き抜けを介して、1階にいる家族と互いに気配を感じられるようになっています。この子供室は、2部屋に間仕切れることもでき、移動可能なカウンターと併せて家族の多様な変化にも対応できるフレキシブルな空間です。

## 【ウッドデッキで内部空間に豊かな広がり】

玄関ドアを開けると、庭へと視界が開ける劇的な演出。食堂からつながる庭のウッドデッキ、子供室からつながるバルコニーは「内から外へと、連続した広がりを楽しめる仕掛け」です。

